目　次

まえがき

Ⅰ　宗教とツーリズム……1

1　聖地とは何か　3

一　聖地の定義

二　聖地をめぐる二つの視点

2　巡礼とツーリズム　7

一　巡礼とは何か

二　サンティアゴの道

三　サンティアゴをめざす人びと

四　現代のサンティアゴ巡礼

3　訪問者が与える聖地への影響　17

一　聖地の観光学

二　訪問者の体験

三　聖地管理の必要性

4　聖地をいかに管理するのか　23

一　訪問者のコントロール

二　マーケティング
三　聖地管理と訪問者
四　聖地のポリティクス
5　ツーリズムと聖地　28

Ⅱ　長崎におけるキリスト教……31

1　日本におけるカトリック　33
一　カトリックの分布
二　長崎における教会史
2　長崎の教会堂建築　41
一　長崎の教会堂
二　教会堂建築の時代区分と建築様式
三　鉄川与助と教会堂建築

Ⅲ　ホストの側の観光動態……53

1　苦戦する九州観光　55
一　九州観光のイメージ
二　九州の観光戦略
2　長崎県の観光動態　57

一　長崎県の観光入込客
二　修学旅行の長崎離れ
三　歴史と文化を観光に
3　観光商品としてのキリシタン　63
一　ローカル化する観光都市・平戸
二　新たな観光資源の創出
三　商品化される「平戸キリシタン紀行」
四　キリシタンツアーの与えるもの

Ⅳ　世界遺産登録への動き……81
1　世界遺産と宗教　83
一　世界遺産ブーム
二　世界遺産の分布と特性
2　プロデューサーとしての「世界遺産の会」　91
一　「世界遺産の会」の設立
二　「長崎の教会群」はどこに価値があるのか
三　文化財としての教会
3　世界遺産運動とアクター　97
一　「世界遺産の会」の活動実績
二　平戸講演会のエスノグラフィー

三　参加者は何を感じたのか
四　世界遺産にすることの意味
五　構築される普遍的価値

V　教会を訪れる人びと……117

1　明日の世界遺産に出会う島　120
一　五島へ、五島へ、皆行きたがる
二　上五島における観光の動向
2　島内観光イベントに参加した人びと　128
一　ウォーク&クルーズ
二　教会群の印象
三　地元の反応
3　教会をめぐる人びと　134
一　カトリック信徒の場合
二　観光客の場合

VI　創造される聖地巡礼……141

1　発見される歴史と消費のまなざし　143
一　ながさき歴史発見・発信プロジェクト

二　長崎キリシタン紀行
2　構築される巡礼　148
一　「ながさき巡礼」の創設
二　何が創造されたのか

Ⅶ　場所の商品化とその課題……157

1　場所の商品化とツーリズム　159
一　偽装された交換と文化の商品化
二　ツーリズムの光と影
2　場所の商品化の課題　165
一　ヘリテージ化にともなう課題
二　世界遺産登録への期待
三　ゲストにおける観光空間

あとがき　172
参考文献　176
索引　180

図目次

図1　ルルド大聖堂遠景（二〇〇〇年七月）……4
図2　奇跡の水をもらう人びと（二〇〇〇年七月）……5
図3　マサビエルの洞窟（二〇〇〇年七月）……5
図4　サンティアゴ・デ・コンポステーラ教会（二〇〇一年八月）……9
図5　サンティアゴ巡礼路……10
図6　巡礼路都市・ブルゴスの景観（二〇〇一年八月）……11
図7　ブルゴス大聖堂（二〇〇一年八月）……11
図8　レオン市内の路上に印された巡礼のシンボルの帆立貝（二〇〇一年八月）……11
図9　サンティアゴ巡礼者数……13
図10　サンティアゴ巡礼における月別巡礼者数（二〇〇六年）……15
図11　サンティアゴ巡礼者における巡礼の目的……15
図12　サンティアゴ教会に到着した巡礼者（二〇〇一年八月）……16
図13　サンティアゴ巡礼の案内書……16
図14　教区別にみたカトリックの信者数（二〇〇四年）……35
図15　教区別にみたカトリックの信者率（二〇〇四年）……35
図16　教区別にみたカトリックの教会数（二〇〇四年）……35
図17　西坂殉教地に建立された二十六聖人記念碑（二〇〇六年一月）……38

図18　サン・ジワン枯松神社（二〇〇六年二月）……39
図19　枯松神社・本殿内の石塔（二〇〇六年二月）……39
図20　長崎県におけるカトリック教会の分布（二〇〇四年）……40
図21　大浦天主堂（二〇〇六年二月）……42
図22　黒島教会（二〇〇六年二月）……42
図23　田平教会（二〇〇五年七月）……43
図24　青砂ヶ浦教会（二〇〇四年八月）……43
図25　頭ヶ島教会の前景（二〇〇四年八月）……44
図26　頭ヶ島教会の横景（二〇〇四年八月）……44
図27　旧五輪教会（二〇〇四年八月）……45
図28　旧五輪教会の内部（二〇〇四年八月）……45
図29　長崎県における形態別・教会堂設立件数……47
図30　RC型教会堂（前期）の事例：浜脇教会（二〇〇四年八月）……48
図31　鯛ノ浦教会（二〇〇四年八月）……48
図32　堂崎天主堂（二〇〇四年八月）……49
図33　出津教会（二〇〇六年二月）……49
図34　リブ・ヴォールト式の天井（二〇〇四年七月）……50
図35　長崎県における観光入込客数の推移……58
図36　長崎県における観光消費額の推移……59
図37　長崎県における市町村別観光入込客数の推移……59

図38 ㈳長崎県観光連盟による修学旅行のサイト（二〇一二年）……61
図39 平戸市の位置と主要施設……65
図40 平戸市における観光入込客数の推移……67
図41 平戸市における県内外別観光客数……67
図42 平戸市における宿泊観光者の地域別割合……68
図43 平戸市における修学旅行客数の推移……68
図44 平戸市における観光消費額の推移……69
図45 平戸キリシタン紀行のパンフレット……72
図46 平戸ザビエル記念教会（二〇〇四年七月）……72
図47 紐差教会（二〇〇四年七月）……73
図48 紐差教会の内部（二〇〇四年七月）……73
図49 聖地・根獅子の浜（二〇〇五年七月）……74
図50 昇天石（二〇〇五年七月）……74
図51 宝亀教会（二〇〇五年七月）……75
図52 聖地・ガスパル様（二〇〇五年七月）……75
図53 長崎の教会群をめぐる世界遺産運動の主要アクター……86
図54 大陸別・カテゴリー別にみた世界遺産の分布（二〇一二年）……90
図55 日本における世界遺産の分布（二〇一二年）……90
図56 「世界遺産の会」発行の刊行物……92
図57 平戸講演会用に作成されたリーフレット……99

図58　教会建築の専門家による説明を受ける参加者（二〇〇六年一〇月）……100
図59　地元テレビ局による取材の様子（二〇〇六年一〇月）……100
図60　シンポジウムで発言するパネラー（二〇〇六年一〇月）……102
図61　山田教会の内部を見学する参加者（二〇〇六年一〇月）……103
図62　大浦天主堂前の修学旅行生（二〇〇八年六月）……119
図63　久賀島（五島市）に上陸したキリシタン・ツーリズム参加者（二〇〇八年二月）……119
図64　新上五島町における教会群……121
図65　五島列島におけるツアーコースの事例（二〇〇七年）……125
図66　上五島における貸し切りバスによる主要観光施設の通過人員……126
図67　キリシタン洞窟（二〇〇六年八月）……127
図68　頭ヶ島教会でのチャーチコンサートの様子（二〇一二年一二月）……127
図69　「ながさき歴史発見・発信プロジェクト」の概要……144
図70　長崎・新キリシタン紀行のパンフレット……145
図71　長崎県の新キリシタン紀行パンフレットにおける平戸・生月・田平コースの説明……146
図72　「教会見学時の注意点」の説明……147
図73　長崎遊学2　長崎・天草の教会と巡礼地完全ガイド……149
図74　ザビエルと歩くながさき巡礼……152
図75　観光客への呼びかけ（二〇一〇年七月）……161
図76　ゲストにおける「ながさき巡礼」の観光空間……171

表目次

表1　聖地の類型……19
表2　長崎における教会の歴史……37
表3　平戸キリシタン紀行の催行実績……78
表4　日本における世界文化遺産暫定リスト入り候補の一覧（二〇〇六年一一月）……84
表5　世界遺産の登録基準……89
表6　「世界遺産の会」の主要な活動（二〇〇七年二月現在）……98
表7　平戸講演会のバスツアー参加者における世界遺産としての価値への思い……106
表8　平戸講演会を終えての、バスツアー参加者感想……107
表9　五島列島を対象としたパッケージツアーの例（二〇〇七年六月）……124
表10　「ウォーク&クルーズ」参加者の感想……131
表11　カトリック信徒における教会巡りの感想……135
表12　一般客における教会巡りの感想……137